

(第8回 情報システム学会 全国大会・研究発表大会)
ベストプレゼンテーション賞 受賞の言葉

慶應義塾大学大学院理工学研究科開放環境科学専攻修士課程
八島敬暁

この度は、ベストプレゼンテーション賞をいただきありがとうございました。昨年度の全国大会に引き続き、2度もこのような栄誉ある賞をいただくことができ、誠に光栄に存じます。プログラム委員の方々をはじめ、学会関係者の方々にこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

今回は、人の行動をシミュレーションする際に考慮すべき要素は何か、また構築した行動モデルをどう評価・検証するかという問題に対し、社会心理学などで用いられている手法に着目したアプローチを発表させていただきました。人の行動は非常に複雑で、たとえば避難行動では、パニックになってしまうこともあれば、規範的で極めて冷静な対応が創発されることもあります。発表では自身の研究の未熟さもあり浅い分析に留まってしまったにも関わらず、貴重なご助言をいただけたことに、深く感謝しております。

この度は、私が所属しております慶應義塾大学理工学部管理工学科飯島研究室のシミュレーションプロジェクトの研究報告の一つとして発表させていただきました。日頃ご指導いただく飯島正先生をはじめ、ともに人に役立つための様々なシミュレーション技術の研究をしているプロジェクト員の山崎淳城君、瀬良篤君、藤田智紀君には大変お世話になりました。各メンバーの研究・協力があつたからこそこの受賞であると受けとめています。

最後に、この大会を通して多くの方からご教示いただいた着眼点を研究に採り入れ、深めていきたいと思えます。受賞に加え、多くの方に興味を持っていただけたことは本当に嬉しく、さらに研究に打ち込んでいきたいと意気込んでおります。ありがとうございました。